



UNIVERSITY OF CAMBRIDGE INTERNATIONAL EXAMINATIONS
International General Certificate of Secondary Education

www.PapaCambridge.com

FIRST LANGUAGE JAPANESE

0507/02

Paper 2 Reading and Directed Writing

May/June 2012

2 hours 15 minutes

Candidates answer on the enclosed Answer Booklet.

No Additional Materials are required.

READ THESE INSTRUCTIONS FIRST

Write your Centre number, candidate number and name on all the work you hand in.

Write in dark blue or black pen.

Do not use staples, paper clips, highlighters, glue or correction fluid.

Answer **all** questions.

At the end of the examination, fasten all your work securely together.

The number of marks is given in brackets [] at the end of each question or part question.

*
1
6
8
0
1
7
9
5
3
9
*

受験生への諸注意

提出物全て（解答用紙、その他）に、センター番号・受験番号・氏名を記入しなさい。

黒または濃い青色のペンを必ず使用すること。

ホッチキス（ステープラー）やペーパークリップ、蛍光ペン、のり、および修正ペンなどの使用禁止。

すべての問題に答えなさい。

試験終了時には全ての提出物をまとめ、必要によっては配布されたひもなどでくくりなさい。

配点は各設問の最後にある [] 内に示されています。

This document consists of **7** printed pages, **1** blank page and **1** inserted Answer Booklet.



パート1

次の【A】と【B】は、日本の農業の現状と未来について述べた新聞記事です。二つの文章を読んで、問題1と問題2に答えなさい。

【A】ロボットが農業を救う？ 無人で田植え、つくばで開発中

人がいなくても自動で農作業を進めるロボットの開発を、茨城県つくば市の農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター（農験機構研究センター）などが進めている。後継者不足などで農業人口の減少が深刻化する中、人間の代わりにロボットが農場を動き回る時代が現実味を帯びつつある。

「ブロー、ブロー——」同センターの実験用圃場（ほじょう）に、田植え機の音が響き渡る。一見、初夏の田園地帯を連想させるが、田植え機には人が乗っていない。自動で方向を変えながら等間隔で苗を植えていく。約30分で、15アールの圃場は苗で埋まった。これは10月初旬、同センターで開かれた農作業ロボットの実演会での光景だ。田植え機のほか、トラクター、コンバインなど農研機構が開発中のロボットを、農機具メーカー社員らが見守った。群馬県桐生市の自動車部品会社を経営する羽広保志さん（41）は「自動で農機具が動くことにびっくり。農業の未来を背負う若い世代にも見てもらいたい」と話した。

同センターが田植えロボットの開発に乗り出したのは十数年前。外観は市販の田植え機と同じだが、カーナビなどに使われている全地球測位システム（GPS）を搭載。あらかじめ田の位置情報や、苗を植える経路や速度などを入力すると、ロボットが勝手に苗を植えていく仕組みだ。2、3年後から2年間、つくば市内の農家などで実際に使ってもらい実証実験を経て、実用化につなげる予定だ。同センター高度作業システム研究チームの玉城勝彦・チーム長（52）は「安全性や操作性を高めた上で、コストを下げるのが今後の課題です。ロボットが普及すれば、農業のイメージが変わる」と意気込む。

ロボットに期待がかかる背景には、日本の農業をめぐる厳しい状況がある。今年発表された農林水産統計によると、2010年の農業就業人口は260万人で、ここ15年で約4割減った。平均年齢は65.8歳で、15年前の59.1歳から右肩上がりですべて上昇を続けている。1年以上、作付けがされない「耕作放棄地」も増加傾向にあり、全国計で滋賀県とほぼ同じ広さにあたる40万ヘクタールにもものぼる。茨城県石岡市の稲作農家の岡田弘さん（50）は「自動化で人手を少しでも減らすことができるのは魅力的。若い世代の農業に対する意識の変化をもたらす可能性はある」と期待する。一方で「どれだけコストに見合うものなのかが未知数だ。稼働効率を上げるには、土地の集約化も必要になるだろう」。JA茨城県中央会の担当者は「大規模農地だけでなく、中小規模の農地にも応用できる技術があれば、ニーズは広がるのではないかと話す。

【B】山間地で「農」に近づく若者達

宮城県旧鳴子町の山間地の田んぼに、この1～2年、農と食に関心をもつ大学生や若者が次々やって来るようになった。ここでは、2年前から農政に頼らず、地域の力で自分たちの食生活と農業を守ろうという「鳴子の米プロジェクト」の活動が進んでいる。連日やってくる視察の人々にまじって若者の姿が目立つ。大学生、そして卒業してもまだ進むべき道をさがしあぐねている若者が、農家や宿に泊まりながら作業を手伝い農家と話し込んでいく。ある者は卒論にこのプロジェクトをテーマにし、ある者はやがて開店する「おむすびカフェ」のために現場研修にくる。

若者たちはなぜここに来るのか。そして何をつかんで帰っていくのか。ひとりの女性が残した感想にそれがうかがえる。「稲株の上に座っていると、イネの根と、米を食べている自分の根は、同じ田んぼに張っているような気持ちでした。田んぼで作られているのは米だけではない。五感で自然を感じながら働く気持ちの良さ。仕事の最中に交わす仲間との会話、笑い。仕事の苦労や喜びを分かち合う時間。食文化や自然への感謝の気持ちなど、大切なものがたくさん含まれていると思う。私も少しずつ農の道に近づいていこうと思う」。

現代の若者がとらえる農業は、その概念領域が広い。土を耕し種をまくだけでなく、収穫物を配達したり、食材を調理加工、料理することも農業なのだと主張する。宮城県高千穂町の若者たちは「こびる研究会」を立ち上げた。昔の労働食だった「小昼（こびる）」を地域の年寄たちから学び、「いまの子供たちや若者が興味をもつ食べ物を作らないと、せつかくのふるさとの伝統食文化も受け継がれない」と、地元の農家の生産物を研究し始めた。地場産100%のファストフードを開発して、小さな町の仕事場づくりをしようと、1年かけて「高千穂バーガー」づくりに取り組んでいる。縁あって私もそれを試食することができた。かつて野に働く人々の食事である「こびる」が、なかなかの「cobiru」になっていた。協力したたくさんの地元の高齢者も、うまい、うまいを連発していた。

いま日本各地で農に近づく若者たちの動きがある。そして食を取り戻そうとする若者が増えてきた。それはまだ時代を動かすうねりにはなっていないが、試みる彼らには「土の上に立つ安心」の表情と、身近な食への信頼と希望が感じられた。

問1 【A】と【B】の新聞記事を読んで、それぞれに描かれている農業へのアプローチについて要約し、比較しなさい。400字程度でまとめなさい。

問2 【A】と【B】を読み、あなたの農業に対する考えを述べ、あなただったら、日本(または、あなたの住んでいる国)の農業の未来のためにどんな提案をするか、300字程度で、新聞の読者欄に投稿文を書きなさい。その際、事例などを添えて、説得力のある文を書きなさい。

[20]

パート2

問 次の3-7の空欄()に下のア-エの中から正しい答えを一つ選んで、記号で答えなさい。

- 3 日本に行くのだった()、すみませんが、お茶を買って来てくださいませんか。
 ア と イ て
 ウ たら エ なら [1]
- 4 読解力を養うため、子供には、良い本を読()ことが必要だ。
 ア ませる イ める
 ウ まれる エ めぬ [1]
- 5 先月、山田社長のお嬢さんが結婚()ましたが、ご存知でしたか。
 ア ござい イ もうし
 ウ なり エ され [1]
- 6 閉め切っていた二階の窓()大きく開けると、爽やかな空気が部屋に流れ込んだ。
 ア が イ で
 ウ を エ は [1]
- 7 和食が好きな姉は、インド料理を作る時も、しょう油を使って()癖がある。
 ア しまえ イ しまい
 ウ しまう エ しまった [1]

問 次の8-12の空欄()に下のアーエの中から正しい答えを一つ選んで、記号で

8 さっき電話で注文したら、()車で持って来てくれたよ。

- | | | | |
|---|----|---|----|
| ア | 減速 | イ | 失速 |
| ウ | 早速 | エ | 加速 |

[1]

9 自分だけが得をしようなんて、そんなつもりは()ない。

- | | | | |
|---|----|---|----|
| ア | 毛頭 | イ | 肝心 |
| ウ | 足先 | エ | 手指 |

[1]

10 十年前の事件が()昨日のことにように思い出される。

- | | | | |
|---|------|---|------|
| ア | いかなる | イ | あたかも |
| ウ | かつては | エ | ましてや |

[1]

11 彼らは、それぞれ国籍も社会背景も違っているが、()にその法案を指示した。

- | | | | |
|---|------|---|------|
| ア | 老若男女 | イ | 異口同音 |
| ウ | 心気一転 | エ | 温故知新 |

[1]

12 この物語には社会的なメッセージが含まれており、何通りにも()できる。

- | | | | |
|---|----|---|----|
| ア | 解読 | イ | 解像 |
| ウ | 解放 | エ | 解釈 |

[1]

問 次の 13-17 の下線で示されたそれぞれの言葉の類義語を、各文章にあてはまる文法用語から選んで書きなさい。(例:これで安全だ→無事)

- 13 彼女はマイペースだ。人から何を言われても一向に平気だ。
- 14 生徒間の学力の格差を縮めるために、生徒と教員が協力して良い学習環境を作った。
- 15 何年も前、フランスに移住した木村さんと東京駅で出会った。思いがけない出来事だった。
- 16 会社側と従業員の育児休暇に関する見解の相違は、明らかだ。
- 17 加藤先生は、厳しい授業と裏直な人柄で、生徒に信頼されている。

[5]

問 次の 18-22 の下線の単語の品詞名を下から選んで記号で答えなさい。

来週、私は 18 山田先生と大阪で開催される 19 大きい国際会議 20 に 21 出席する。22 これが、私にとって初めての学会発表となる。

ア 形容動詞	イ 副詞	ウ 助詞	エ 接続詞
オ 助動詞	カ 代名詞	キ 形容詞	ク 名詞
ケ 連体詞	コ 動詞	サ 感動詞	

[5]

Copyright Acknowledgements:

Part 1 Passage A © Naoya Ima; <http://www.asahi.com/national/update/027/TKY201010270484.html>.

Part 1 Passage B © Sankan-chi de "Noh" ni chikazuku wakamono; <http://eco.nikkeibp.co.jp/article/column/20100908//0476/?P=2>; 13 September 2010.

Permission to reproduce items where third-party owned material protected by copyright is included has been sought and cleared where possible. Every reasonable effort has been made by the publisher (UCLES) to trace copyright holders, but if any items requiring clearance have unwittingly been included, the publisher will be pleased to make amends at the earliest possible opportunity.

University of Cambridge International Examinations is part of the Cambridge Assessment Group. Cambridge Assessment is the brand name of University of